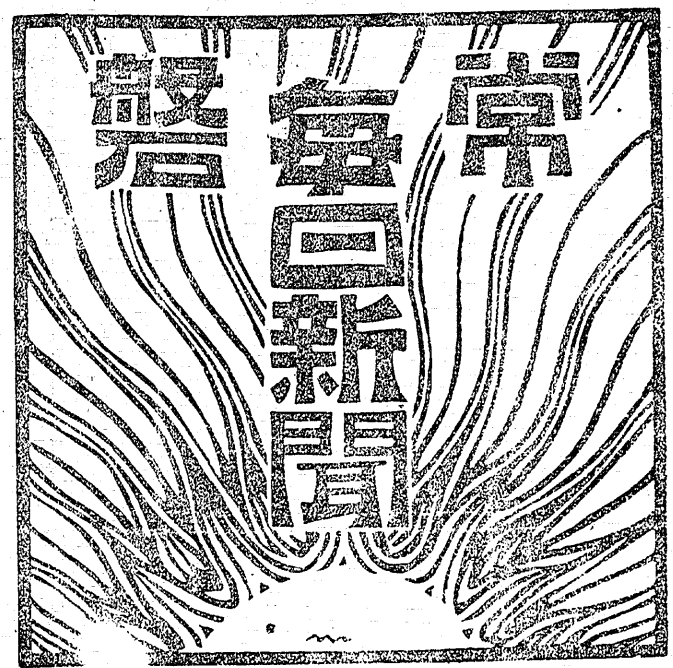


裏面を御一覽願ひます



刊日十月一

發行所 常磐新日新聞社 印刷所 常磐印刷所

二丁目の賣出し

吉例に依り十四日から

暮の買物はぜひと信用商店の團結振

平町目貫きの本町通り、中を呈するが本年は殊に同町してある事が肯かれる。其堅商家の櫛比する二丁目の々々内兩入口に宏壯なるアー...

品は抽籤券一萬五千本に對する用意し、これ以上商品が捌ければ景品はそれ増す事勿論である。現に一昨年の如きは突然の賣行を見...

七枚と 爲し又昨年四枚を増すと云ふやうな右様で如何に同町の福引が確實な點に於て信用を置かれて居るかがうかがはれる...

抽籤時間とその事務所

景氣のよい話はない、二丁目が數年來舊年末毎にかくの如き大々的福引...

見山の品景 福運は誰の手に 一等十三本 二等五十本 三等百廿本

- 桐 箆 筒 柳行李、其他 反物、湯わかし 外套、醬油樽 外入、鮭、其他

二丁目有名商店めぐり

遠方までも名が響いて居る西村屋、隣りの望月金物店には金類類の日用品が...

の鶴屋旅館、堅實な營業振油店は規模益々大にして最近隣縣茨城に迄大油槽場...

本日一萬枚増刷 一流旗亭、宴會ばかりか一寸一杯の客をも手厚くも...

高久病院 院長 醫學士 高久忠 副院長 新瀨醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

川崎田丁二

一日目	四日目	五日目	六日目	七日目
曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
十二月廿四日	舊十二月廿五日	舊十二月廿六日	舊十二月廿七日	舊十二月廿八日
十一月十六日	十一月十七日	十一月十八日	十一月十九日	十一月廿日

銀行 電話
山口谷 料理 電話

電話 五七二番
大堀鮭魚店

電話 六四〇番 柏屋モスリン店	電話 一六一番 永野キヤンパー ストア	電話 五四六番 おす屋指物店	三光堂樂器店	鈴木荒物店	電話 八〇九番 北海屋商店 海産物 乾物	電話 七五六番 大平小間物店	電話 一五六番 三井はやお物店	電話 七〇五番 江島屋洋服店	電話 四一五番 田卷香油店	電話 七三〇番 花澤米穀店
--------------------	---------------------------	-------------------	--------	-------	----------------------------	-------------------	--------------------	-------------------	------------------	------------------

至 町

聯合大賣出し

至 目十一

電話 六四九番 玩具店	電話 三二八番 株式會社 第七平支店	電話 一三一三番 清光堂書店	電話 三二八番 中野洋品店
電話 四三二番 味酒糖 醬類油 鋼 嘉支店	電話 四三二番 板硝子 器 商 淺川商店	電話 三二八番 橋屋菓子店	電話 三二八番 望月金物店
電話 三二八番 西村屋藥舖	電話 三二八番 株式會社 第七平支店	電話 三二八番 望月金物店	電話 三二八番 西村屋藥舖

電話 三三三番 伊關 吳服店	電話 三三三番 美登屋小間物店
-------------------	--------------------

り 二十日 まで 七日間
傾ん べ 山の 如し
二十八日 まで 七日間

至 平 商業 學校

岸 通 り

相澤菓子店	柏原真吾
-------	------

の 通 岸 川 南

米角雜貨店
魚清魚店 電話六三三番
小松屋はき物店
藤市かまぼこ店 電話三〇五番

小松屋洗炭店 電話七六〇番
幾乃家 電話三三〇番

大賣出の日	
初日	土曜日 舊十二月廿二日 十一月十四日
二日目	日曜日 舊十二月廿三日 十一月十五日
三日目	月曜日 舊十二月廿四日 十一月十六日
四日目	火曜日 舊十二月廿五日 十一月十七日

菊屋樂器店
大村屋旅館 電話一七五番
白土屋七十七人店 電話五四四番
山崎活版所 電話一〇番
長谷川椅子店
白土屋荒物店 電話一五一番
ふみや洋品店
大一屋商店 電話一三〇番
陳野洋品店
なかや洋服店 電話二〇二番
關内油店 電話一六〇番
柏屋モスリン店 電話一六一番
永野井ヤシ

平田川町目録

昭和三年一月十四日

會社 平銀 行 電話三〇番 六四三番
あさかや 坂田金物店 電話一二八番
紙屋米穀肥料店 電話二〇八番
紙屋呉服店 電話二五六番
◎福引券引換所 事務所 ツルヤ旅館 電話二二二番
遠藤帽子店 電話七二八番
平野屋はき物店
煙草元賣捌所 電話五六番
中野洋品店 電話五三三番
清光堂書店 電話一三三番

御菓子 福助 あられ
小間物 三井分店 電話六三五番

昭和三年一月十四日より二十日
福引景品積ん
舊十二月二十二日より二十八日

電話 岸 川 北 至 丁 二

事 務 所 通 り

本年は徐々に景氣が好くなる

實業同志會長 武藤山治氏談

財界の豫測は非常に困難なことであつて、變轉極まりなきその前途を彼これ觀測しても當らぬ場合が多い、然しながら現状から見れば本年は多少景氣が好くなるはせぬかと思ふ然し財界の眞の恢復は見ることは出來ない、我國の財界は政府が戰時戰後の財政を誤り國民之に惑はされて昭和二年に及び最早包み切れずして斯界に永く

恢復の第一歩に入つたものであるといふことは誤りなからうかと信する、但吾官民にして一度
その養生を誤れば病氣は再び重態となるやうなことがないと言へないか、當分は猶靜養時代であると思へるが正當であると思ひます

外科専門

上田外科醫院

入院應需
平町南町
電話一二九番

内科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。

磐城病院

平町田町本通り
入院隨時(電話一一四番)

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平南町(電話一七〇番)

磐城共濟病院

平町(電話六四一番)

- 内科 小兒科 院長 醫學博士 難波
- 外科 皮膚泌尿科 部長 渡部桂太郎
- 外科 婦人科 部長 木村淳
- 産科 婦人科 部長 野秋善直
- 藥局 藥劑士 賀澤忠治

外科

外科一般
耳鼻咽喉科
女性病科
×光線科

赤心堂病院

町田
電話四七五番

平組合藝妓一覽

(昭和三年一月一日現在)

京米 (電話一二九番) 米金富 太郎時彌	葉二 (電話二六四番) 家富松 照ゆり	山形 (電話二二七番) 家君小 千代龍香	久本 (電話九〇二番) 九久清玉 友千代	三好 (電話五三三番) 桃小松千 太郎高	甲子 (電話四四四番) 光照福升 子半美玉	谷口 (電話八八八番) おみ文千 ごさ代	川半 (電話八六六番) 玉玉鶴太 子郎江目	玉川 (電話六六六番) 宇佐喜 子治子	平組 (電話二二二番) 玉勝菊榮 子代助
清福 (電話三四三番) 喜太玉君 子郎香丸	仲家 (電話二五二番) 小半市小 玉太清藏	湖月 (電話四二五番) 豆ふ小月 蝶助今子	開花 (電話二五〇番) 桃半君花 子代九子	吉野家 (電話二六〇番) 金半才太 太郎三助	三島家 (電話二二二番) 靜金千春 枝子子八	竹廬家 (電話七三三番) お竹千代 おみおみ	家乃 (電話二二二番) 玉勝菊榮 子代助	林家 (電話二二二番) 玉勝菊榮 子代助	眞佐乃家 (電話三三三番) 小政小 太しん

澤品 (電話二二三番)
三半半蝶
太郎つ玉

家榮 (電話四〇二番)
富禮そ
士子江

家乃 (電話四五三番)
小政小
太しん

美味評判 食キワイ

町屋紺町平

外交員貳拾名

至急募集

一月收 八拾圓以上(年齢問ワズ)
通勤又ハ住込ニテモヨシ)

業務熟練ノ上ハ各地ニ出張ヲ
命シ尙二ケ年以上經驗ノ者ハ
本人希望ノ土地ニ(ハケン)シ
業務上必要ノ見本ト資本金ヲ
支給ス

福島縣平町大町

徳岡 東北出張所總本部

鎌田善六商店

電話三七三番
振替仙台三一六七番

裏面を御一覽願ひます

發行所 印刷部

品は抽籤券一萬五千本に對する用意し、これ以上商品が捌ければ景品はそれ文増

一二丁目 各商店は左記の如くである

(特等)平町長橋町安藤治りて信用の厚い紙屋吳服店 近は隣縣茨城に迄大油槽場

の鶴屋旅館、堅實な營業振油店は規模益々大にして最